

NEWS

Kuwana City Medical Center

vol.57 | 小児科



Take Free



特集 小児科

子どもの成長を支える

日本小児科学会では、「小児科医は「子どもの総合医」と表現しています。病気を治療することはもちろん、子どもの成長を見守り、支えることが小児科医の仕事です。

当院の小児科では、現在6名の医師で15歳以下の子ども達の診療を行っています。診療科が細かく分かれている大人とは異なり、小児科医は様々な症状について広く知識を持つ必要があります。子どもは症状をうまく言葉で表すことができないことも多いため、注意深く診察し、付き添いのご家族から必要な情報を聞き取りながら、年齢や体重なども考慮して治療を行っています。

新病院ではNICU(新生児集中治療室)を増床しました。これにより、治療や管理が必要な新生児にもより充実した対応が可能になりました。

今回は、子ども達の笑顔と成長を支える小児科を紹介します。

小児科の1日

毎朝 8:30 全体ミーティング
1日の業務確認、情報共有を行います。

午前

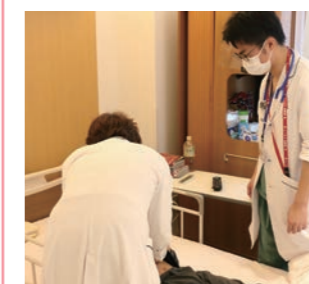
外来

入院や検査が必要になる、他の医療機関からの紹介患者さんの診察を中心にを行います。



病棟

入院患者さんの回診を行います。ベッドサイドで一人ひとり状態を確認します。採血など必要な検査を行います。



お産への対応

帝王切開やリスクのある出産には、小児科医が出産時から立ち会います。



毎日 13:00 全体ミーティング
午前中の診療の報告、情報共有を行います。



午後

外来

慢性疾患の患者さんの診察や予防接種、乳児検診を行います。



病棟

検査結果の確認やご家族への説明、必要な検査の依頼などを行います。



生まれた赤ちゃんの診察や検査、入院中の健康管理なども小児科医が対応しています。

子どもの成長をサポートする

小児科の外来診療では、入院や検査が必要な他の医療機関からの紹介患者さんの診察や急性の病気への対応を行うとともに、慢性疾患の継続フォローも行っています。

大人の疾患は細かく診療分野が分かれています。小児は多種多様な症状に対応していく必要があります。

当院では、平成30年に3センターが新病院として統合される前から各センターで専門外来を開設し、専門医と協力しながら診療にあたってきました。



小児循環器外来 — なかむら小児科内科 院長 中村 重男 先生 —



私は小児循環器外来(隔月第1水曜)を担当しています。桑名東医療センターの時期を含め約15年以上前から、主に先天性心疾患や川崎病などのフォローアップを行ってきました。愛知県の病院で小児循環器科などに勤務した経験を生かし、患者さんの訴えに耳を傾け、十分に説明したうえで、質の高い医療を提供する事をモットーにしています。

小児心療内科 — 三重大学医学系研究科 発生再生医学 教授 成田 正明 先生 —



小児心療内科は第2、4、5火曜日に完全予約制で診察をしています。幼児期～中学生くらいまでのお子さんの心身の発達等に関する診察を幅広く行う専門外来で、自閉、多動、学習障害、場面緘黙(かんもく)、発達の遅れ、不登校等にお困りの方が対象となります。それ以外の年齢、症状の方もお気軽にお問い合わせください。お一人の診察に時間がかかるため、診察数に限りがあり、すぐに予約が取れないこともありますが、できるだけ早めに診察できるようにいたしますので、ご了承ください。

新病院開院により新たな専門外来が増えました。

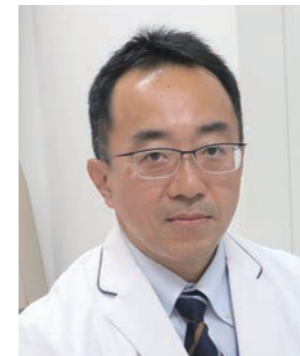
小児循環器外来 — 三重大学病院小児科 外来医長 澤田 博文 先生 —



子どもの心臓病には、生まれながらにして心臓の構造に病気がある先天性心疾患をはじめ、不整脈や川崎病後冠動脈障害、肺高血圧などがあります。多くは心雑音などで、乳幼児期までに発見されますが、学校での検診時に心電図やレントゲンの異常で発見されることも少なくありません。近年は、心臓病で幼少時に治療を受けた多くの患者さんが、学校生活を経て成人に達しています。

小児循環器外来では、子どもの心臓病に精通した医師が、運動負荷心電図、心エコー検査などを実施し、診断と治療、経過観察を行っています。手術やカテーテル検査・治療が必要な場合には、三重大学病院等と連携し、手術前後の管理や術後のフォローアップを行います。

小児外科外来 — 三重大学病院小児外科 病院教授 内田 恵一 先生 —



小児外科では約500gの赤ちゃんから中学生くらいまでの外科治療を専門としています。

私は、三重大学病院(津市)に勤務しており、こちらで毎月第三木曜日の午後に小児外科専門外来を担当しています。外来では便秘や鼠径ヘルニア(脱腸)、臍ヘルニア(でべそ)などの日常疾患の診療から、小児外科特殊疾患のセカンドオピニオンもお受けしていますので、気楽にご相談ください。

私は、益生小学校、光風中学校、桑名高校の卒業生で、小児内科の先生方と協力して地元の桑名市に貢献したいと考えています。

小児神経外来 — 三重大学病院小児科 助教 米川 貴博 先生 —



小児神経外来は、毎月第4火曜に開設しています。子どもの中枢神経、脊髄、末梢神経、筋肉の病気や神経発達症等への専門的な医療を提供しています。具体的には、放射線学的検査(CT、MRI、脳血流シンチグラムなど)、電気生理検査(脳波、神経伝導検査など)、心理発達検査、血液・尿検査などを行っています。当院で実施困難な検査等(長時間脳波モニタリング、針筋電図、筋生検など)は三重大学病院で行います。けいれん、運動・知能・感覚・行動または言葉の障害など脳、神経、筋に何らかの異常があるお子さんの診断、治療、指導を行いますので、お困りの方はご相談ください。

安心して出産できるよう、万全の体制を整えています。



出産と聞くと産婦人科をイメージされることが一般的ですが、生まれてきた赤ちゃんは小児科が担当しています。

リスクがある分娩や帝王切開、双子などの多胎児の出産などには小児科の医師が立ち会っており、出産後すぐに赤ちゃんの診察や治療を行っています。また手術室には生まれたての赤ちゃんをケアするための「インファントウォーマー」を準備し、産婦人科と連携しながら迅速に対応できる環境を整えています。

そのほかにも、NICU(新生児集中治療室)に入院している赤ちゃんだけでなく、産科新生児室に入院している赤ちゃんも毎日小児科医が回診しています。

高度で専門的な治療

NICUは生まれたばかりの赤ちゃんを対象とした集中治療室です。

当院にはNICUが6床あり、医師や看護師が24時間体制で治療にあたっています。NICUには早産や未熟児として生まれた赤ちゃん、呼吸障害などによって緊急な対応が必要な赤ちゃんなどが入院しています。

また、呼吸状態や発達などに注意が必要な赤ちゃんのご家族には、入院中から退院後の自宅療養に関する相談などにも対応しています。

小児科では赤ちゃんの治療はもちろん、ご家族の気持ちに寄り添ったケアを日々心がけています。



産婦人科医師との連携・協力



小児科と産婦人科医師による合同カンファレンスを毎週金曜日に実施しています。

カンファレンスでは、今後出産される妊婦さんの経過やNICU入院中の新生児の状態などの情報共有をします。

生まれてすぐ治療が必要な赤ちゃんを診察する場合は、産婦人科医師との事前の打ち合わせはとても重要です。

リスクのない普通のお産でも、緊急な対応が必要となることもしばしばあります。

また、他院からの母体搬送の受け入れについても、産婦人科医師と日頃から情報を共有し、地域の周産期医療全体を考えて体制を整えています。

退院後のフォロー

退院後は赤ちゃんの状態に応じ、外来で定期的に診察や乳児健診などを行っています。診察や健診では発達状態を確認したり、継続的な治療を行っています。

また、当院では小児リハビリテーションを行っており、必要に応じて退院後早期からリハビリを開始し、お子さんの発達を途切れなくサポートしています。

小児科の外来診察室は他の外来と仕切られた空間となっており、子どもたちが緊張しないように壁紙などを可愛くするなどいくつかの工夫がされています。また、外来スタッフは子どもたちが怖がらずに受診できるよう、笑顔で和やかな雰囲気になるよう心がけています。



小児治療を支えるスタッフ

看護師



小児科病棟

1月に外科病棟から異動し小児科病棟配属になりました。小児病棟には0歳から中学生までの幅広い年齢の子どもが入院しています。大人と違い、子どもは痛みや苦痛を言葉で発信できないことが多いため、看護師は子どもの小さな変化やサインに気付けるよう努力しています。また、発達段階に応じた関わりを行い、入院生活の不安や苦痛の軽減に努めています。そして、子どもだけでなく家族の不安や苦痛にも注目し、家族全体への安心安全な看護を目指して頑張っています。

小児科病棟(6階南病棟)
看護師長 鯉登 咲織



NICU



産婦人科病棟

当院の周産期病棟（産婦人科病棟・NICU）は、女性とそのパートナー、生まれてくる子どもの誕生に関わらせていただく病棟です。誰ひとりとして同じ分娩シーンはありません。その人らしく妊娠・出産・育児ができるよう、助産師や看護師をはじめとする病棟スタッフが一丸となってサポートさせていただきます。私たちにお任せください。

NICU兼産婦人科病棟(6階北病棟)
看護師長 佐藤 友美子



小児リハビリテーション(理学療法士)

小児リハビリテーションは、運動発達指標から発達が著しく遅れているお子さんや、様々な理由で動くことが難しいお子さんを対象に、一人ひとりのお子さんに合わせたプログラムを通し、運動機能の向上により、発達に応じた生活活動につなげることを目指しています。運動機能の発達を促すために、姿勢を保ったり、動きをサポートする技術などの指導や、家庭で出来る簡単なエクササイズを提案をしています。また、発達に適した自助具のカウンセリングと評価を行っています。



高倉 利恵 [小児リハビリテーション担当理学療法士(非常勤)]

三重県出身。日本と米国4州において理学療法士免許取得。米国モンタナ大学にて理学療法士号及び理学療法博士号を取得、セントオーガスティン大学にて徒手療法を学び理学療法修士号を取得し、認定徒手療法士となる。小児理学療法士として米国のホスピタル、クリニック、病院附属学校等で理学療法を実施、その後カルフォルニア州健康管理局認定小児理学療法士となり、0歳児からシニアに至る幅広い年齢層を対象とした理学療法士として活躍。大阪河崎リハビリテーション大学勤務。2015年より現職兼鈴鹿医療科学大学非常勤講師。

薬剤師



6階病棟担当薬剤師
出口 賀奈子 長谷川 真左子

私たちは主に薬の情報提供や注射剤の調製、ご家族への服薬指導などを行っています。投与量や副作用はもちろん、処方された薬をきちんと飲むことができているかを確認しています。小児の入院は成人と異なり、NICUを除くほとんどの場合ご家族が付き添われます。薬を初めて使用するという患者さんも多く、苦戦することがあります。薬を飲むことが難しい場合、どのようにしたら飲めるのか、いくつかの方法を提案し、ご家族と相談しながら指導するようにしています。

MSW



大森 絵美 米 裕美子 後藤 由紀子
東田 友紀 叶田 寛人 山本 笑梨子

医療ソーシャルワーカーは様々なご相談や院内外での職種関係機関との調整を行っています。また、小児慢性疾患等の制度利用や申請方法などもご案内しています。お子さんの場合、ご家族の不安も大きいので、少しでも不安を少なくできるよう、丁寧にお話を聞くよう心がけています。相談を希望される方は、主治医や看護師に申し出ていただくか、入院棟3階総合受付横の地域医療センター患者相談窓口にお越しください。

With you 医療人



当院では現在20名の薬剤師が活躍しています。

薬剤師の主な業務として「調剤」「服薬指導」「医療品情報提供」「医薬品管理」などがあります。新病院では、病棟ごとに担当の薬剤師を配置し、患者さんに安心・安全にお薬を提供できるよう取り組んでいます。

今回は、当院で働く薬剤師の仕事の一部を紹介します。

治療をサポートする業務

病棟ごとに担当薬剤師を配置し、病棟薬剤業務の質を高めています。

薬が飲みにくい、量が多くてつらい、気になる症状があるなど、薬についていつでも相談してください。

病棟担当薬剤師の1日



毎日、医師や看護師と一緒に入院中の患者さんを診察します



症状や検査値を確認して、投与計画や副作用のモニタリングなどを行います



薬が処方箋どおりに用意されているか確認しながら、セットしていきます



退院後の服薬や注意点について説明をします



入院前に家で飲んでいた薬の内容などを一粒ずつ確認します



服薬中の薬の説明や症状の確認などを行います



病棟にある薬の数や使用状況を確認して、管理します

チーム医療へ参加しています。

病院では、栄養サポート、糖尿病、肝臓病、緩和ケア、褥瘡、感染などさまざまなチームが活動しています。薬はあらゆる患者さんの治療に関わるので、薬剤師はすべてのチームに参加し、医師や看護師、管理栄養士、臨床検査技師、リハビリテーションスタッフなど多職種と協力しています。

薬を供給する業務

医師の処方箋や注射処方箋に基づいて調剤します。



当院では、処方の前に必ず処方箋の内容をチェックしています。

- ・処方箋の内容が常用量を超えていないか？
- ・飲み合わせに問題はないか？
- ・アレルギー歴はないか？
- ・点滴の投与量や速度、期間は患者さんに合っているか？

最新の設備を使っています。

無菌状態で混合調製できる設備(クリーンベンチ)や抗がん剤を調剤する時に調剤者の曝露を防ぐ設備(安全キャビネット)を使って安全性を高めています。



薬剤部一丸となって患者さんに安全かつ安心して医療品が届くように努めています。また、新しい医薬品や医療の最新情報も取り入れ、皆様に情報提供できるよう日々心掛けています。患者さんに寄り添った医療の一員として、がんばっています。

副薬剤部長 伊藤 久美子



薬剤師募集中

薬剤師修学資金貸与制度を始めました。詳しくは、当院ホームページをご覧ください。

シリーズ がんを知ろう！

平均すると日本人の二人に一人はがんにかかるといわれています。こんなにも多くの方がかかるがんとはどのような病気でしょう？そして、その原因は何なのでしょう？シリーズでお話しします。

第2弾 がんになる頻度はどのくらい!?

前回、「がん」はがん細胞からできていて、正常細胞の遺伝子に変異が生じることで、がん細胞になると説明しました。遺伝子に原因があるなら、「がんは遺伝する」と思いがちですが、病気が遺伝するためには精子や卵子など生殖細胞の遺伝子に異常が生じる必要があります。多くのがんは生殖細胞ではなく、他の細胞(胃や肺の細胞)の遺伝子に突然変異が起こることで発生しますので、遺伝することはほとんどありません。



副理事長・病理診断科
白石 泰三 医師

1953年愛知県生まれ
1979年三重大学医学部卒業
1983年同大学院修了
元三重大学医学部
腫瘍病理学講座教授
福井医科大学、三重大学を経て
2016年4月より現職。

がんの頻度

がんの頻度を表す数字

臓器毎のがんの頻度を考える際には、「死亡数」と「罹患数」という二種類の数字があります。例えば、胃癌の死亡数とは、その年に胃癌で亡くなった人の数で、罹患数はその年に新たに胃癌と診断された数です。両者は同じではありません。ゆっくり進行するがんほど罹患数は多くても死亡数は低くなります。乳がんは女性で罹患数が1位ですが、死亡数は5位です。逆に肺がんは女性の死亡数2位ですが、罹患数は4位です。このことは、乳がんは比較的ゆっくり進行し、肺がんは逆に進行が速いことを示しています。

がんの死亡数は、「死亡届」から算出しますので、その数値は正確です。一方で、罹患数は医療機関からの届け出に頼っています。2016年から法律によりがん登録制度が発足しましたが、届け出義務があるのは200床以上の病院だけです。もれがありますので罹患数は死亡数ほど正確ではありませんし、下表にあるように発表までに数年を要します。

2014年罹患数					
	1位	2位	3位	4位	5位
男性	胃	肺	大腸	前立腺	肝臓
女性	乳房	大腸	胃	肺	子宮
男女計	大腸	胃	肺	乳房	前立腺

がんと診断された人は増加している!?

日本では2015年に約90万人ががんと診断されています。この数字は年々増加し、1985年の2.5倍以上です。しかし、増加の原因は環境の悪化や発がん物質の増加ではなく、人口の高齢化にあります。もし、高齢者の割合が一定とするならがんの罹患率(人口10万人あたりの罹患数)は減少しています。逆に考えれば、日本はますます高齢化社会になりますのでこの先がん患者はさらに増えると考えられます。

日本で一番多く診断されるのは大腸癌です。次いで胃癌、肺癌、乳癌、前立腺癌と続きます。これら頻度の高いがんには罹らないように生活習慣を考えることは大事ですが、それだけで予防できるわけではありません。がんには罹る可能性は高いと考え、早期発見に努めることも重要です。そのためには定期的ながん検診が重要です。次回はがん検診について説明します。

2017年死亡数					
	1位	2位	3位	4位	5位
男性	肺	胃	大腸	肝臓	膵臓
女性	大腸	肺	膵臓	胃	乳房
男女計	肺	大腸	胃	膵臓	肝臓

Pick UP

主な取り組み

院内保育所 ゆめっこ保育園

当院では、スタッフが安心して働けるよう院内保育所を運営しています。保育所からは毎日子どもたちの元気な声が聞こえてきます。

日常の保育

子どもたちは0歳児のひよこ組、1歳児のウサギ組、2歳児以上のパンダ組に分かれて、制作や室内遊び、お散歩などをしながら過ごしています。お天気の良い日は近隣の公園へお散歩に行き、遊具や砂場で遊んだり、ボール蹴りをしたり、元気いっぱい走り回って遊んでいます。また、桑名駅周辺で電車やバスを見たり、寺町で開催される三八市へ行くなど、病院の立地環境をいかした取り組みをしています。



保育スタッフ

子どもたちが安全で、楽しく過ごすことができるよう、スタッフ一体となって保育にあたっています。



【委託事業者】社会福祉法人 洗心福祉会

保育方針

心身ともに健康で
安全に過ごせる環境の下
子どもたちに夢と希望を
育む保育を目指す

年間イベント(予定)

季節に合わせてたくさんの行事を行っています。

- 各月 誕生日会
- 4月 お花見...近隣公園の立派な桜を見に行きます
- 8月 夏祭り...家族参加で、楽しい縁日、子どもたちが練習した盆踊りなど
- 10月 運動会...家族参加で、かけっこや頑張って練習したダンスの発表など
- 12月 クリスマス会
- 2月 節分

ファミリーデー、敬老の日などご家族へのプレゼント制作にも取り組んでいます。



利用条件



当院の職員を対象に、職種や勤務形態に関係無く利用することができます。

- 【対象】 生後57日目～小学校就学前
- 【通常保育】 昼間保育 7:30～18:00
延長保育 ～20:00
- 【夜間保育】 20:00～翌7:30

+

桑名市防災訓練に参加 7月14日

桑名市内の医師・看護師等が参加する「伊勢湾台風60年桑名市防災訓練」が開催されました。訓練は大地震が発生し、家屋の倒壊や多重事故が発生した想定で、人命救助および集団救急訓練が行われました。当院からも医師5名、看護師3名が参加し、トリアージや応急処置、搬送手配などの訓練を行いました。



+

高校生の1日看護体験を実施 8月1日、2日

高校生による1日看護体験を実施しました。参加者はナース服に着替え、病棟看護師のもとで、看護師の仕事を教えてもらいながら、足浴や車いす介助、聴診器やストレッチャーの使い方など、様々な体験をしました。参加者からは「看護師の魅力がよくわかった」という声がありました。



市民公開講座を開催しました

マイク

第2回脳卒中センター市民公開講座 10月19日

NTNシティホールで当院と三重県随一のリハビリ実績を誇る藤田医科大学七栗記念病院合同による第2回脳卒中センター市民公開講座を開催しました。「脳卒中の急性期治療からリハビリテーションまで」と題して当院脳神経外科の阪井田医師や濱田医師、認定看護師、七栗記念病院長の園田茂医師による講演、嚥下教室やリハビリ体験などを行いました。



マイク

整形外科市民公開講座 10月26日

NTNシティホールで「ひざの痛みについて」と題した市民公開講座を開催しました。当院整形外科の岡村医師と稲垣理学療法士が、ひざの痛みについての詳しい解説や日常生活を送る上での注意点、当院で行っている人工関節治療に関する講演をしました。当日は、多くの方に参加いただき、90名の定員が満員となりました。



Gallery ギャラリー } 絵画等がたくさん飾られているのはご存知ですか？

院内には、寄贈いただいた絵画などがたくさん飾られています。Galleryでは、竹田理事長による作品紹介をシリーズで掲載しています。いろいろな作品がありますので、来院の際にはぜひ本物を探して、お楽しみください。



山里 スゴンザック画(水彩画20号 平田家寄贈)
展示場所:入院棟4階廊下

スゴンザック(Andr Dunoyer de Segonzac:スモンザックとも読みます)は1884年生まれのフランスの画家、パリの美術学校に学び、印象派、キュビズム、セザンヌなどの影響を受けた後、渋い色調と落ち着いた構図の風景画や静物画などを描き、独自の画風を築きました。また水彩画やエッチングなどにも優れた作品を数多く残しています。1974年90歳でパリに没しました。

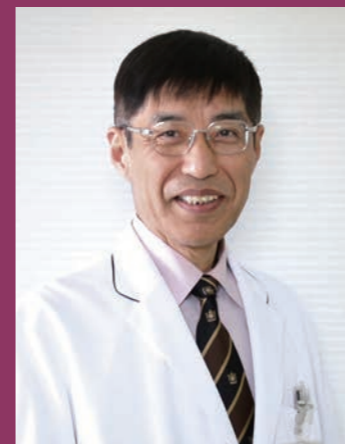
水彩画「山里」が描かれたのは冬でしょうか。背景の暗い小山、ひっそり佇む平屋建ての民家、画面左から中央へ伸びる曲がりくねった道路、落葉した背の高い樹々、閑静な里山風景が、抑制された色彩で淡々と描かれています。

今関一馬(いまぜきかずま)は、1926(大正15)年、洋画家を父として東京に生まれ、旧制一高へ入学しますが中退して画家となります。40歳の頃に初めて渡欧して以来、風景画を描くようになり、南欧や北海道美瑛などの自然を、単純化した形と明るい色彩で描きました。また東大教養学部図書館の「青春」をはじめ優れた壁画を数多く残し、2009年、82歳で亡くなりました。

「長崎の山と海」は、遠くに聳える明るい山々、近くに並ぶ勤ずんだ民家の屋根、その間にあるライトブルーの海と鮮やかな白壁の家々、それぞれが力強い線で明瞭に輪郭され、美しいコントラストを醸し出します。遠くなるほど景色が明るくなる、そこにも心嬉しいものを感じます。



長崎の山と海 今関一馬画(油彩画20号 平田家寄贈)
展示場所:外来棟4階廊下



故 平田 和男 医師

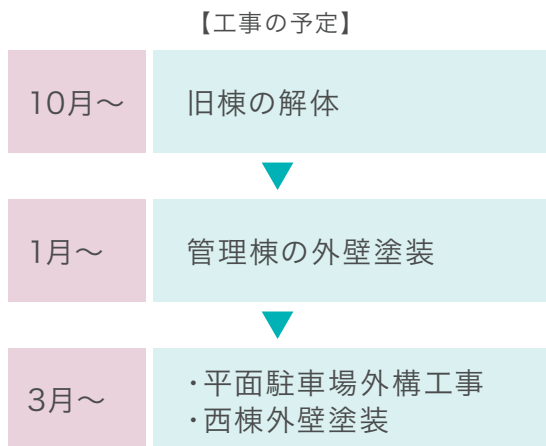
平田和男先生が10月6日急逝されました。享年66歳、余りにも突然の訃報でした。「桑名の医療を良くしたい」人一倍強い思いを抱かれていた先生は、平田循環器病院の院長として長年桑名市の地域医療の充実のために尽力され、三病院の再編統合にも大きな貢献をされました。新病院開院後も自ら聴診器を片手に多数の患者さんを親身になって診られ、また新病院のために今回紹介致しました2作品をはじめ数多くの素晴らしい絵画を寄贈していただきました。

先生は、患者さんをはじめ私ども病院職員にとって、全幅の信頼のおける秀逸の医療人でありました。先生のご冥福を心よりお祈り申し上げます。

理事長 竹田 寛

旧棟の解体工事を行っています

旧棟の解体工事を行っています。
跡地は平面駐車場になる予定です。



Q & A

Q. 10月から消費税が10%に増税されましたが、病院の費用も変わりますか？

A. 10月から保険診療の医療費の窓口負担額と保険診療の医療費以外にお支払いいただいている料金(文書料や室料差額)が、変わりました。

保険診療の医療費

消費税増税に伴い、10月から診療報酬点数や薬価が改正され、算定点数が一部変更されたため、請求金額が少し増加しています。病院では、実施した内容に該当する点数を1点10円で計算し、患者さんの負担割合に応じて窓口で負担いただいています。

【改正後の変更例(初診料)】

診療報酬点数	改正前(9月まで)		改正後(10月から)	
	282点		288点	
窓口負担の金額	1割負担の場合	3割負担の場合	1割負担の場合	3割負担の場合
	282円	846円	288円	864円

保険診療以外の費用

保険診療以外の費用については、課税対象となりますので、消費税分を8%から10%の金額に変更しています。

【対象となるもの】

室料差額(個室・特室代)、初診時選定療養費、診断書料など書類作成費用、面談料、乳腺マッサージ料など
※人間ドック・脳ドック料金は、今年度中の変更はありません。

事務職員募集中!

桑名市総合医療センターでは
病院経営のスペシャリストを目指す人材を
募集しています。一緒に働きませんか?

詳しくはセンターHPへ!

病院総合職(事務職)

採用日
令和2年4月1日
申込締切
令和2年1月31日(金)(消印有効)
選考試験日
令和2年2月15日(土)

※受験者数に応じて面接日程が別日になる場合があります。

